



2025年1月31日

各 位

会社名 新光電気工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 倉嶋 進
コード番号 6967 東証プライム市場
問合せ先 経営企画室長 清野 貴博
TEL(026) 283-1000 (代)

当社の親会社 富士通株式会社
代表者名 代表取締役社長 時田 隆仁
コード番号 6702 東証プライム市場

業績予想の修正に関するお知らせ

業績予想の修正につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	243,300	40,700	40,500	27,200	201.31
今回修正予想 (B)	215,000	25,600	25,600	18,000	133.22
増減額 (B-A)	△28,300	△15,100	△14,900	△9,200	—
増減率 (%)	△11.6	△37.1	△36.8	△33.8	—
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	209,972	24,810	27,257	18,609	137.73

2. 修正の理由

半導体業界は、AI 向けの需要が拡大する一方で、汎用サーバー、自動車、産業機器向け等が依然として低調に推移し、在庫調整のさらなる長期化の影響を大きく受けるなど、半導体業界全体の回復には至らない厳しい市場環境が継続しております。

このような状況にあって、当社グループにおきましては、在庫調整の長期化等による影響を大きく受け、フラップチップタイプパッケージ、プラスチックBGA基板、リードフレームの売上が想定を下回るなど厳しい状況で推移しております。

フラップチップタイプパッケージにつきましては、サーバー向けの需要低迷が想定比長期化するとともにパソコン向けは競争激化の影響を受け、プラスチックBGA基板は、第3四半期において先端メモリー向けの需要が下振れ、また、リードフレームは、自動車向けをはじめとして在庫調整が依然として継続するなど、売上は想定を下回る水準で推移し、利益面につきましても、売上高減少の影響を大きく受け想定を下回って推移しております。

つきましては、このような状況をふまえ、2024年10月25日に発表いたしました2025年3月期の連結業績予想数値を修正いたします。

なお、通期業績予想の前提となる第4四半期の為替レートを1米ドル=135円から140円に変更しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上